



## 宮司プレス 八十五号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十五年六月三十日

◇宮司に就任して、一年の歳月が流れた平成十八年六月より、毎月発行を続けている「彦島八幡宮 宮司ニュース 宮司プレス」、先月号で丸七年、今月号で八十五号、八年目に入ります。 かしながら、今年になって、発行日が、大幅に遅れ、月末になってしまふという事態(じたい)が、茶飯事(さはんじ)となり、改善されないまま、ワースト記録を更新中であります。

◇梅雨の季節ですよね。 どうしても、雨が降り続けると、「はじめじめしている」とか「うつつうしい」とかですね、この梅雨を邪魔者(じやまもの)扱いにしてしまいますよね。

毎朝つかっている私の濃い青のマグカップには、「雨の日には雨の中を 風の日には風の中を」と白の染料(せんりよう)で、相田みつを「さんの詩が焼きつけてあります。雨が降るからうつつうしい、風が強いから嫌だというのは、自分のわがままな気持ちなのですね。 「雨奇晴好(うきせいこう)」という、降るもよし晴れるもよしというとらわれない心持ちで、何事にも対処(たいしよ)

ることの大切さを説いています。 実は、梅

雨は邪魔者どころか、わが国にとって大歓迎すべきものなのです。 この梅雨によって田植えができ、稲作が可能になります。 梅雨に加えて九月上旬の台風による雨は、現代でこそ自然エネルギーのうち、比重は少な

りましたが、水力発電の源にもなります。 この水力発電が盛んであったのは、世界有数の森林を有し、それが保水(ほすい)し、多くの川の流れを作りだしていたからなのです。 しかし、すべてが便利になった現代社会のなかで、そういう自然の営みや日本列島の位置と雨との関係を忘れてしまいますと、「うつつうしい、はじめじめする」と邪魔者扱いにしてしまうのですね。 本来ならば、梅雨こそ恵みの雨であり、感謝しなければなら

ないのです。 ◇さて、本日の夕刻、大祓式(おおはらいしき)を斎行(さいこう)します。 人形(ひな)とがたに自分の罪(つみ)穢(けが)れを移して、茅(かや)と蓬(よもぎ)で奉製(ほうせい)した茅(ち)の輪(わ)を「蘇民将

来(そみんしょうらい)」と唱(な)え三回(さんかい)ぐり抜(ぬ)けます。 では、罪穢(つみけが)れとは何(なに)でしょうか。 罪(つみ)は、我儘(わがまま)、私利私欲(しりしよく)です。 梅雨を邪魔者扱いする一人よがりのわがままな気持ちを排除(へいじょ)し、感謝(かんしゃ)する心を取り戻(もど)すことが、罪を祓(はら)うことですね。 「私」という漢字は、「禾」に「ム」ですよ、 「禾」は、穀物(こくぶつ)のことで、「ム」は、肘鉄(ひじてつ)です。 大事な共同体の穀物(こくぶつ)を肘鉄(ひじてつ)で独り占(ひとり)めにしているのが、「私」という字(じ)です。 やはり、肘鉄(ひじてつ)で独り占(ひとり)めにせず、両手(りょうて)をひろげて分け合(わけあ)おうと、「ム」に「ハ」をつけると、「公」という漢字(かんじ)になりますよね。 罪(つみ)を祓(はら)うと運命(うんめい)共同体(くたいたい)になるわけです。 穢(けが)れは、病(やまい)でありまして、神様(かみさま)から授(たま)った元氣(げんき)な体が枯(か)れる、「氣枯(きこ)れ」ですね。 「氣」という漢字(かんじ)は、「气」のなかに、実は、「米」が入(い)りますよね、ですから、「氣」です。 やはり、日本人(にほんじん)のエネルギーの源(ね)は、「お米」なのです。 穢(けが)れを祓(はら)うこととは、お米(こめ)が出来上(できあ)がるまでの過程(かてい)、プロセス(プロセス)に深く思いをよせて感謝(かんしゃ)することだと考えますね。 そして、罪穢(つみけが)れが払(はら)われた時に、大自然(たいてん)への感謝(かんしゃ)、ひいては畏怖(いふ)と尊敬(そんけい)という、日本列島(にっぽんりゅうとう)の四季(しき)をつらぬく心構(こころかま)え、初心(こころま)を取り戻(もど)すこと

ができるのではないでしようか。その心構えと初心こそが、神様から授かった美しい心と身体なのですね。

◇吉田松陰（よしだ しょういん）先生は、「心正直（こころしようじき）身清浄（みせいじよう）」と仰（おっしゃ）いました。私利私欲をかなぐり捨て、心正直に、気持ちを枯らさず、身清浄にする、これこそが、本日の大祓式であります。

◇来月、私は、一つ年を重ねて満五十一歳を迎えますし、宮司に就任して丸八年となります。加齢（かれい）に抗（あらが）う、「アンチ エイジング」ではなく、よりよく年を重ねる「ウェール エイジング」で、生活の質の向上を心掛け、御奉仕申し上げたいと思います。なにとぞ、宜しくお導きください。御自愛を心からお祈り申し上げます。

◇六月の祭典行事報告

▼月次祭 \*六月一日、十五日

▼海士郷恵比須神社例祭 \*六月十日



▼朝粥会 \*六月二十一日  
▼大祓式 \*六月三十日



※拝殿前の茅（ち）の輪（わ）は、七月十三日、二十七日と奉製作業を実施予定ですので、七月三十日（火）まで、くぐれます。御家族お揃いにて御参拝下さい。

◇六月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇早起会総会 \*六月二日〜三日

◇とこわか奉納グランドゴルフ会役員会

\*六月八日

◇維蘇志会草刈例会 \*六月六日

◇奉賛会総会 \*六月十五日

◇敬神婦人会百合野顧問誕生日参拝

\*六月二十六日

◇奉賛会行事委員会 \*六月三十日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇下関支部三役会 \*六月一日  
◇神職大会 \*六月六日  
◇教学研究・調査研究委員会合同会議 \*六月五日

◇社頭講話研修会 \*六月十三日

◇下関支部幹事会 \*六月十四日

◇敬神婦人連合会総会 \*六月十七日

◇定例協議員会 \*六月十九日

◇祭式研修会 \*六月二十五日

◇北九州神職会交流会 \*六月二十五日

◇女子神職会総会 \*六月二十八日

▼迫町自治会

◇町内清掃 \*六月九日

▼教誨（きょうかい）活動

↓美祢社会復帰促進センター

◇釈放前講話 \*六月十九日

▼西ロータリークラブ

◇例会 \*六月十九日

◇クラブ協議会 \*六月十二日

▼講演活動

◇蜀短歌会総会にて「御遷宮の心」と題して講演 \*六月十五日

※岩国市

